

ふれあい

No.202

ふれあいネットワーク

福祉作文コンクール結果報告 (佳作については氏名のみ)

今年度の福祉作文コンクールには、小学生55作品、中学生101作品の応募がありました。

審査委員による慎重な審査の結果、次の児童・生徒の皆さんが入賞・入選しました。

たくさんのお応募、ありがとうございました。

【小学生の部】

▽金賞

「視覚障害者との関わり方」

佐藤 稟 (6年)

▽銀賞

「パラリンピックについて」

片岡 怜 (6年)

「みんなにやさしい社会を目指すには」

片山 裕美 (6年)

▽銅賞

「生きるよろこび」

岡 夏樹 (5年)

「ユニバーサルデザインと私の事」

藤沼 茅聡 (6年)

「視覚障害者のために私達にもできること」

稲葉 葵 (6年)

▽佳作

菅原 萌衣 (5年)

稲葉 夏希 (5年)

太田 結衣花 (6年)

鈴木 結七 (6年)

西野 栞奈 (6年)

渡邊 こはく (6年)

関 遙斗 (6年)

中川 愛唯 (6年)

沼田 勇樹 (6年)

村上 璃緒乃 (6年)

【中学生の部】

▽金賞

「幸せに生きるために」

千葉 萌楓 (2年)

▽銀賞

「高齢者がいきいきとした社会に」

清水 花菜 (2年)

「福祉を目の前に」

真島 杏奈 (2年)

▽銅賞

「新しい生活」

土岐 歩未 (1年)

「幸せなら手をたたこう」

松頭 七海 (1年)

「幸せになるためには」

藤井 美悠 (2年)

▽佳作

菅原 愛瑠 (1年)

星場 麻央 (1年)

高村 光 (1年)

村川 大悟 (1年)
村本 美菜 (1年)
村上 咲莉 (2年)
井上 悠華 (2年)
菅原 悠華 (2年)
高橋 明華 (2年)
浦上 結華 (2年)
長谷川 葵久 (2年)
鎌塚 梨々星 (2年)

※敬称略

令和2年度福祉作文コンクール

【金賞】受賞作品 紹介

小学生の部 【金賞】

「視覚障害者との関わり方」

佐藤 稟さん (6年)

福祉とは、ふだんの、くらしを、幸せにという意味です。私はみんなが幸せにくらせるためには、それぞれの人が相手に思いやりの気持ちを持つことが大切だと思います。

私は学校で、ブラインドウォークという目かくしをして歩く体験をしました。学校のプレイルームから一、二年生の教室の前を通って体育館の中を歩いてもどつてくるというコースを歩きました。ふだん歩くとおま

り感じませんが、目かくしをして歩くこととすぐきよりが長く感じました。そして、どこを歩いているのか全然わからなくて、とてもこわく感じました。でも、きつと視覚障害者は毎日こういう思いをしています。このような思いを持っている視覚障害者とは、どのような思いやりを持って、どのような関わり方をしていけば良いのでしょうか。

まずは接し方です。困っている時急にふれてしまうと、視覚障害者はびっくりしてしまいます。声をかける時は、

「○○しましょうか？何かお困りでしょうか？」

と声かけと同時に軽く肩やうでにふれます。そして説明するときは、具体的に分かりやすく説明します。そうすると、きつと視覚障害者は安心すると思います。

次は、町のバリアフリーの利用の仕方についてです。町のトイレなどで音声案内を聞いたことはありますか。この音声案内は、視覚障害者がたよりにしている中の一つです。ですから、視覚障害者のために、音声案内の近くでは静かにすることが大切です。また、点字の上に自転車を

止めたり、荷物が置いたりしてあるのを見たことはありませんか。点字の上に物を置くと視覚障害者がつかかって転んでしまいます。ですから、ルールを守って点字の上に物を置かないようにすることが大切です。

ここでは、視覚障害者について取りあげましたが、他の障害者、高齢者、小さな子どもにも思いやりの気持ちを持つことが大切です。視覚障害者は目が見えないという障害を持っているだけで、他は私たちと同じです。ですから、視覚障害者も私たちも、みんな同じように施設を利用できて、みんな同じように接することができます。私が私は大切だと思います。

中学生の部 【金賞】

「幸せに生きるために」

千葉 萌楓さん（2年）

福祉の福は、しあわせ。福祉の社は、さいわいという意味があります。また福祉を、英語に訳してみるとウエルフェアとなります。このウエルフェアをウエルとフェアにわけた時ウエルは、よく、十分にという意

味、そしてフェアは、生きる、暮らしていくという意味があります。このことから、私は福祉とは誰もが幸せに十分に生きることだと思います。

そこで私は、十分に生きるとはどのようなことかというのを私なりに考えてみました。普段私が無気なく生活していることも、お年寄りの方や障害を持っている方には困難なことと多々あると思います。その困難なことをできるようにサポートしたり支えたりする仕事を『介護福祉士』といいます。介護福祉士のみなさんは介護施設を利用してはお年寄りの方々の身体介護、食事や移動、衣類の着脱のサポートをしたり、生活

援助、洗濯や掃除のサポートなど他にも沢山のことを支えています。困難なことも、できるようにサポートをすることで十分に幸せに生きることができるとだと思います。また、介護福祉士だけでなく保育士や看護師もサポートをする仕事です。

誰もが幸せに十分に生きることができる社会にするために、今私にできることは何かということを考えてみました。私は、まだ介護福祉士や保育士、看護師などの仕事に直接関わる機会は、なかなかありません。

ですが、そんな私でも何か行動を起こしたいと思った時まさぎに、中学校で行われているRBP活動が思い浮かびました。RBP活動とはRはリングブル、Bはベルマーク、Pはペットボトルキャップを意味します。これらの三つを集めると車イスや立ち上がり歩行器などと交換できます。交換した車イスなどは老人ホームや介護施設に寄付されます。ですから、RBP活動を積極的に行ったたり、周りの人たちにも、しっかり呼びかけていきたいです。そうすることで直接サポートをしている介護福祉士の方の支えになれたらいいなと思います。

先日お年寄りの方が重い荷物を持って歩いていました。とても大変そうだったので、私は家までその荷物を運びました。すると、その方は笑顔で

「ありがとう。」

と言って、お礼に大根をくれました。笑顔で喜んでもらいます。みんなが互いに困難なことを助けあうことで、よりよい社会を築き、全ての人が幸せに十分に生きるということにつながると思います。

このように福祉は、全ての人が幸せになりより良い社会を作るために必要です。助けあうこと、今できることを一つ一つ取り組み、日々意識して過ごしていこうと思います。

小さな支えがやがて大きな支えとなりみんなが、十分に幸せに生きるという生活が、できる社会にしていきたいです。

心配ごと相談所 開設中

社会福祉協議会では、日常生活で抱えている問題や悩みなどを相談できる「心配ごと相談所」を開設しています。

秘密は厳守いたしますので、お気軽にご利用ください。

- ▽日時 毎週水曜日 9～16時
- 希望があれば、水曜日以外でも受付いたします。
- ▽料金 無料
- ▽問合せ

新十津川町社会福祉協議会

☎76・2600

街頭募金へのご協力 ありがとうございました

赤い羽根共同募金運動がスタートした10月1日～2日、5日、8日に、町内3か所で街頭募金運動を行いました。

街頭には、赤十字奉仕団の皆さん、共同募金委員会役員、あざれあ工房の利用者が出役し、赤い羽根運動のPRを行ったほか、募金への協力をお願いしました。多くの皆さんにご協力いただき、3万6070円もの募金協力をいただきました。ご協力いただき、ありがとうございました。



第15回 赤い羽根共同募金チャリティーカラオケの中止について

新十津川町共同募金委員会が、赤い羽根運動を広くPRすることや募金増強を図るため毎年開催し、出演者や来場者の皆さんから好評をいただいている、冬の風物詩となった「赤い羽根チャリティーカラオケ」ですが、新型コロナウイルスの感染拡大を防ぎ、皆さんの生活の安全と安心を守るため、中止とさせていただきます。

新型コロナウイルスの一刻も早い終息をお祈りいたします。



昨年の
チャリティーカラオケの様子



歳末たすけあい運動 スタート

12月1日から年末にかけて、歳末たすけあい義援金運動を実施します。この運動は新たな年を迎える時期に支援を必要とする人たちが地域で安心して暮らすことができるよう、住民相互が助け支え合う運動です。

皆さんからの義援金は、町内の生活に困窮している寝たきり高齢者やその介護者、在宅独居高齢者、ひとり親世帯などに見舞金として贈呈されるほか、町内各行政区で取り組まれる福祉事業や高齢者や障がい者等を対象とした給食サービス等の事業費として助成されます。

赤い羽根共同募金運動同様、皆さんのご支援、ご協力をお願いいたします。



ご当地ピンバッジ デザインコンクール

新十津川町共同募金委員会では、広く赤い羽根共同募金をPRすることや募金増強を目標に、2016年から赤い羽根と新十津川町の観光PRキャラクター「とつかわ こめぞー」がコラボしたご当地ピンバッジを作成し、今年度で第5弾となります。

来年度のご当地ピンバッジのデザインは、「ご当地ピンバッジデザインコンクール」を実施し、皆さんから応募いただいた作品の中から選ばれた最優秀作品をもとにご当地ピンバッジを制作します。

テーマは、「新十津川と赤い羽根」。デザインは、新十津川町を連想できるものであれば自由です。
※ただし、赤い羽根をデザインの中に入れてください。

作品の募集期間は、令和2年10月1日～12月23日となっており、ゆめりあ内社協事務局前に設置の投函箱に投函いただくか、デザインを撮影・スキャンしたものをメールで送ってください。

応募用紙は、社協事務局で配付しているほか、社会福祉協議会のホームページからダウンロードすることができます。

新十津川町民であればどなたでも、何点でも応募することができます。たくさんのご応募をお待ちしています！



褒章通信

新型コロナウイルスの影響により、大会などの行事はほとんどが中止となりましたが、本町の次の方々が表彰、感謝状を受けました。

▽遺族会

北海道連合遺族会理事長表彰

・村上 忠 義 様 (花月)

・乗松 政 勝 様 (総進)

空知連合遺族会長感謝

・葛西 政 則 様 (弥生)

▽老人クラブ連合会

空知地区老人クラブ連合会

功労者表彰

・工藤 健 様 (菊水)

・柄田 政 様 (橋本)

・高崎 弘 之 様 (花月)

・佐藤 秀 明 様 (菊水)

・仲西 信 之 様 (大和)

あたたかい善意を
ありがとうございます。

・青葉区 水谷隆子様より、
あざれあ工房へ『着物』を
寄贈いただきました。

社協雑記

家の前の線路から、列車の音が聞こえなくなって半年が経ちました。踏切の遮断機が撤去され、線路の撤去作業も始まり、10月10日には駅舎の駅名板も取り外され、駅としての役目を終え、もう二度と列車が来る事はないのかと思うと、とても寂しい気持ちになります。ですが、跡地には立派な公園が出来ると聞きました。

目に見えない敵に振り回され続け、大声で笑う事さえも我慢しなければならなかった2020年。

公園が完成した暁には、今年我慢した倍、いや三倍、いや1000倍返しにして、子供達と大声で笑い、遊びたいデス！

S・M

ご厚情感謝申し上げます

●社会福祉協議会へ

◆高橋 征勝さん(青葉) 10万円

故 ユキ様生前のお礼

◆越智 恭子さん(中央) 5万円

故 榮様生前のお礼

◆西野 末広さん(徳富) 10万円

社会福祉資金として

◆上杉 一夫さん(弥生) 3万円

故 ナミ子様生前のお礼

◆柳町 三雄さん(橋本) 1万円

故 慶子様生前のお礼

◆倉田 好江さん(総進) 5万円

故 敬也様生前のお礼

◆奥芝 理郎さん(文京) 3万円

故 山口 園様生前のお礼

◆身障福祉協会へ

◆中村 純子さん(橋本) 3万円

退会にあたって